

第三者委員会議記録簿

平成19年度下半期

社会福祉法人・春生会

施設長	兒玉 邦彦	出席者	第三者委員	菊池 フコ	岡 清子	司会者	兒玉 邦彦
			保育主任	小谷 祐子		記録者	中園 理恵
			記念主任	押川美保子			
			春生主任	中萬 裕美			

開催場所	施設長室						
開催日時	平成 20 年 1 月 17 日(木) 13 時 30 分 ~ 14 時 45 分						

議題

- 1.各部門より(H19.8.16以降の)苦情についての報告
- 2.報告内容についての協議
- 3.その他

各部門報告内容

保育主任 保育園内で苦情としてあがってきたものは特になし。その他の事項として1件報告。
 ・発表会の会場を保育園に戻したことで、保護者より意見がでた。

記念主任 希望山荘・・・主治医への状況報告書を家族にも見せてほしいとの相談。(H19.9.14)
 希望楽苑・・・事業所内での転倒事故について、その場にいた家族だけにではなく、他の家族へも状況説明と謝罪がほしいとの苦情。(H19.12.29)
 ・居宅介護利用者よりゴミの処理方法が違うとの苦情。(19.12.31)
 ・デイサービス利用者より朝の迎える時間が一定でないとの苦情。(H20.1.16)

春生主任 苦情としてあがってきたものは特になし。その他、職員が取り上げた事項として1件報告。
 ・認知症の利用者の方が、書き込みページに「つまらない、何もすることがない」と書き記していたため家族へ報告する。他の事業所も利用しているため、横の連携も取り、今後も気を付けて様子を見ていくことにする。

協議内容

保育部門・・・発表会会場については、来年度の実施にあたり今年度の反省点を活かしていくようにする。
 記念部門・・・希望山荘の件については、状況報告書を主治医と家族と別々に2通準備しましょうかという伺いをたてた。希望楽苑の転倒の件については、自宅訪問をして謝罪し、今後の事について話し合った。また、ゴミの処理についての申し出には、職員間で話し合い、サービスの確認と手順を改めて確認し直す。また、迎える時間についての相談は、別便を出すことで時間を安定させることを説明し理解していただく。

春生部門・・・デイサービス利用中、話し相手になる他の利用者がいない場合は、職員が話し相手をしていくなどして対応していくことにした。

特記事項

・上半期までは、在福を通所部門と訪問部門とに分けていたが、下半期より希望山荘・希望楽苑を記念事業部門、春生倶楽部・国富ケアプラン・国富ホームヘルプ・五福deごはん(配食サービス)を春生事業部門として議記録簿に記載している。